報 道 発 表

国立教育政策研究所
National Institute for Educational Policy Research NIER

令和８年 10 月 21 日

第１期「こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」取組事例集を公表します

国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターでは、令和５年度より公募型委託事業として、「こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」を実施しています。

今回、第１期（令和５～７年度）の委託地域における発達支持的生徒指導を意識した取組事例をまとめましたので、公表いたします。

１．事業の概要

本事業は、令和４年に改訂された『生徒指導提要』に示された「発達支持的生徒指導」に着目し、その考え方を学校現場において具体化するとともに、学習指導と生徒指導の一体化を図りながら、児童生徒一人一人の成長や発達を支える魅力ある学校づくりの実践について調査研究を行うことを目的として実施したものです。

全国 11 地域の教育委員会及び学校（９中学校区と２校の高等学校）と連携して実践研究を進め、その取組の過程や成果、工夫等を取りまとめたものが、今回公表する取組事例集です。本取組事例集を通して、発達支持的生徒指導についての理解が一層深まり、生徒指導上の諸課題の未然防止が図られることを期待しています。

２．主な内容

本取組事例集は、解説編と実践編で構成しています。

解説編では、発達支持的生徒指導の考え方、生徒指導の実践上の４つの視点からの「居場所づくり」と「絆（きずな）づくり」、学習指導と生徒指導の一体化、児童生徒への意識調査を基にした PDCA サイクルによる取組等について解説しています。実践編では、全国 11 地域における実践事例について、背景・課題意識、主な取組、取組のポイントを整理し、児童生徒の姿、声、数値に表れた変容について紹介しています。

また、教育委員会が実施する研修や、学校における校内研修等で活用できるよう、取組事例集の内容を基にしたスライド版の資料も併せて作成しました。

詳細は、別紙リーフレットを御覧ください。

３．その他

国立教育政策研究所のホームページに本取組事例集及びスライド版資料を掲載
（https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/kodomo_jirei.html）

（お問合せ先）
国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター
総括研究官　戸上　琢也
電話：０３－６７３３－６８８６（直通）

文部科学省
国立教育政策研究所
NIER National Institute for Educational Policy Research

こどもを育てる
発達支持的生徒指導を意識した実践

― 学習指導と生徒指導の一体化を図る ―

第１期　こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業（令和５～７年度）

取組事例集　公表

誰もが安心して学べる魅力ある学校をどうつくるか。

全国11地域の実践から見えてきた

- 発達支持的生徒指導を意識した取組
- 居場所づくりと絆づくり
- 学習指導と生徒指導の一体化
- PDCAサイクルによる学校改善
- 不登校の未然防止　など

こんなお悩みはありませんか？

- ☐ 発達支持的生徒指導の具体を知りたい。
- ☐ 不登校や生徒指導上の諸課題の未然防止に取り組みたい。
- ☐ 校内での授業改善や諸活動の充実を図りたい。
- ☐ 学校や校区でPDCAサイクルによる改善を進めたい。
- ☐ 小中連携や校種間連携を具体的に推進したい。
- ☐ 児童生徒の主体的な取組を促したい。

全国11地域の取組事例を紹介

発達支持的生徒指導を意識した取組や、学習指導と生徒指導の一体化を図った授業改善の取組等、９中学校区と２校の高等学校で実践した取組を掲載しています。

【委託地域】
・秋田県（羽後町）
・福井県（あわら市）
・愛知県（岡崎市）
・京都府（相楽東部広域連合）
・大阪府（摂津市）
・岡山県（県立高等学校）
・山口県（美祢市）
・高知県（南国市）
・佐賀県（県立高等学校）
・宮崎県（国富町）
・鹿児島県（薩摩川内市）

取組事例集はこちらからご覧ください。

取組事例集掲載ページ
https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/kodomo_jirei.html

発達支持的生徒指導を基盤とした
魅力ある学校づくりへ

第１期　こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業（令和５～７年度）

発達支持的生徒指導とは？

全ての児童生徒を対象に行う、**「日常的なあいさつや声かけ、励まし、賞賛、対話、授業や行事等での個と集団への働きかけ」**です。日常の授業等で、何気なく行っている声かけや働きかけなどを、生徒指導の実践上の視点から意識的、意図的に行い、児童生徒一人一人の成長や発達を支えていきましょう。

※ 生徒指導の実践上の視点　自己存在感の感受　共感的な人間関係の育成　自己決定の場の提供　安全・安心な風土の醸成

学習指導と生徒指導の一体化

授業は全ての児童生徒を対象とした 発達支持的生徒指導の場

※『第1期 こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業（令和5～7年度）取組事例集』 p.10 より引用掲載

こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業

委託地域では、「こども基本法」や『学習指導要領』、『生徒指導提要』の趣旨を踏まえ、生徒指導の実践上の視点から発達支持的生徒指導を意識し、「居場所づくり」や「絆づくり」のための場づくり、学習指導と生徒指導の一体化に取り組みました。また、児童生徒への意識調査を基に、PDCAサイクルによる取組の点検・見直しを行い、小中連携や校種間連携を通して、教職員の共通理解と共通実践を図ってきました。

これらの取組を通して、生徒指導上の諸課題が生じにくい誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進しました。現在、第2期（令和8年度から令和10年度）の取組が始まっています。

参考資料

教職員の声かけや働きかけ等の発達支持的生徒指導によって、学校への好感や所属意識、心理的な安心感等の「学校とのつながり」が高まることで、「いじめ加害経験」及び「欠席意向・欠席行動」を有しにくい傾向につながることが、国立教育政策研究所のプロジェクト研究「不登校・いじめ等の生徒指導上の諸課題と学校風土等との関連及び効果的な取組等に関する調査研究」において明らかになっています。詳しくは、中間報告書（令和8年7月）をご覧ください。

中間報告書の概要

中間報告書／全体版

動画配信

本事業の取組等について、令和8年度生徒指導研究推進協議会にて発表しました。当日の様子を、国立教育政策研究所YouTubeチャンネルにて、配信しています。

国立教育政策研究所
YouTubeチャンネル

チャンネル登録
よろしくお願いします。

文部科学省
国立教育政策研究所
National Institute for Educational Policy Research
NIER

〈編集・発行〉　生徒指導・進路指導研究センター　令和８年10月
TEL ： 03-6733-6880
URL ： https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/div09_shido.html

※　本誌で掲載している画像やイラストは、生成ＡＩが出力したものを加工して利用しています。編集については、戸上琢也（生徒指導・進路指導研究センター総括研究官）が担当しました。